

図書だより



2017年7月 第3号 生野高校図書部

分類	書名	著者名	出版社
222. 07	中国の近現代史をどう見るかーシリーズ中国近現代史⑥ー	西村 成雄	岩波書店
289. 1	矢内原忠雄 戦争と知識人の使命	赤江 達也	岩波書店
324. 64	親権と子ども	榊原富士子・池田清貴	岩波書店
392. 53	在日米軍 変貌する日米安保体制	梅林 宏道	岩波書店
910. 268	夏目漱石と西田幾多郎ー共鳴する明治の精神ー	小林 敏明	岩波書店
289. 2	世界史リブレット人73 レーニンー二十世紀共産主義運動の父	和田 春樹	山川出版
289. 2	世界史リブレット23 ラシード・アッディーンーモンゴル帝国 期イランの「名宰相」ー	渡部 良子	山川出版
913. 3	中世王朝物語全集9 小夜衣		笠間書院
913. 3	中世王朝物語全集10 しのびね・しら露		笠間書院
913. 3	中世王朝物語全集11 雫ににごる/住吉物語		笠間書院
049	もし文豪たちがカップ焼きそばの作り方を書いたら	神田桂一・菊地良	宝島社
140	心理学概論[第2版]	岡市 廣成他	ナカニシヤ出版
141. 34	脳にまかせる勉強法	池田 義博	ダイヤモンド社
141. 51	自分では気づかない ココロの盲点	池谷 裕二	講談社
159. 6	女の子が生きていくときに、覚えていてほしいこと	西原 理恵子	KADOKOWA
302	なぜ、世界は“右傾化”するのか	増田ユリア・池上彰	ポプラ社
334. 31	未来の年表 人口減少日本でこれから起こること	河合 雅司	講談社
334. 41	限界世界 人口減少で日本が迫られる最終選択	毛受 敏浩	朝日新聞出版
336. 2	神・時間術	樺沢 紫苑	大和書房
364	教養としての社会保障	香取 照幸	東洋経済新報社
366. 38	育児は仕事の役に立つ	浜屋祐子・中原淳	光文社
369. 28	子供の死を祈る親たち	押川 剛	飛鳥新社
493. 73	肺炎がいやなら、のどを鍛えなさい	西山 耕一郎	新潮社
598. 2	色気は分娩台に置いてきました。	ヤマダ モモコ	三オブックス
607. 13	人口知能の核心	羽生 善治	NHK出版
726. 1	とある新人漫画家に、本当に起こったコワイ話	佐倉 色	飛鳥新社
726. 5	あるかしら書店	ヨシタケ・シンスケ	ポプラ社
780	心を鍛える言葉	白石 豊	NHK出版
816	マジ文章書けないんだけど	前田 安正	大和書房
913. 369	宇治の結び(上)ー源氏物語	荻原 規子	理論社
913. 369	宇治の結び(下)ー源氏物語	荻原 規子	理論社

913. 6	追憶	青島 武	小学館
913. 6	弥栄の烏(八咫烏シリーズ第6巻)	阿部 智里	文藝春秋
913. 6	錆びた太陽	恩田 陸	朝日新聞出版社
913. 6	光と闇の旅人Ⅰ 暗き夢に閉ざされた街	あさの あつこ	ポプラ文庫ピュアフル
913. 6	光と闇の旅人Ⅱ 時空の彼方へ	あさの あつこ	ポプラ文庫ピュアフル
913. 6	光と闇の旅人Ⅲ 決戦のとき	あさの あつこ	ポプラ文庫ピュアフル
913. 6	この嘘がばれないうちに	川口 俊和	サンマーク出版
913. 6	ジュリエットのいない夜	鴻上 尚史	集英社
913. 6	やめるときも、すこやかなるときも	窪 美澄	集英社
913. 6	ちょっと今から仕事やめてくる	北川 恵海	メディアワークス文庫
913. 6	暗黒女子	秋吉 理香子	双葉社
913. 6	どこかでベートーヴェン	中山 七里	宝島社
913. 6	本を守ろうとする猫の話	夏川 草介	小学館
913. 6	かがみの孤独	辻村 深月	ポプラ社
913. 6	シャーロック・ホームズ対伊藤博文	松岡 圭祐	講談社
913. 6	探偵・日暮旅人の失くし物	山口 幸三郎	メディアワークス文庫
913. 6	探偵・日暮旅人の忘れ物	山口 幸三郎	メディアワークス文庫
913. 6	第七異世界のラダッシュ村2	蟬川 夏哉	星海社 FICTIONS
973	パパの電話を待ちながら	ロダーリ・ジャンニ	講談社

★分類番号を囲っているのは「寄贈本です。ありがとうございました。」



本の紹介

●ちょっと今から仕事やめてくる 北川 恵海 著 メディアワークス文庫



ブラック企業にこき使われて心身共に衰弱した隆は、無意識に線路に飛び込もうとしたところを「ヤマモト」と名乗る男に助けられた。同級生を自称する彼に心を開き、何かと助けてもらう隆だが、本物の同級生は海外滞在中ということがわかる。なぜ赤の他人をここまで気にかけてくれるのか？ 気になった隆は、彼の名前で個人情報をネット検索するが、出てきたのは、三年前に激務で鬱になり自殺した男のニュースだった。働く人ならみんな共感！ スカッとできて最後は泣ける“すべての働く人たちに贈る、人生応援ストーリー”

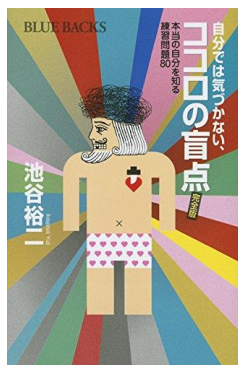
●暗黒女子 角秋吉 理佳子 著 ジュニア文庫

ある女子高で、最も美しくカリスマ性をもつ女生徒が死んだ。
一週間後に集められたのは、女生徒と親しかったはずの文学サークルの仲間たち。
ところが、彼女たちによる事件の証言は、思いがけない方向へ――。
果たして女生徒の死の真相とは？ 全ての予想を裏切る黒い結末まで、一気読み必至の衝撃作！
2017年春全国ロードショー。生徒リクエスト本です。



●自分では気づかない ココロの盲点

池谷 裕二 著 講談社



たとえば買い物で、得だと思って選んだものが、よく考えればそうでなかったことはありませんか。こうした判断ミスをもたらす思考のクセはたくさんあり、「認知バイアス」と呼ばれます。認知バイアスは、無意識のうちに勘違い、判断ミスを引き起こす、いわば思考の錯覚。その不思議な世界を気鋭の脳研究者がひもときます。身近な人間関係に役立つだけでなく、実際に、商品開発やマーケティングにも応用されている認知バイアス。その古典例から最新例までクイズ形式で実感することで、自分の持つ思考のクセだけでなく、他人のココロの動きまで分かります。

●神・時間術

樺沢 紫苑 著 大和書房

朝一集中力が高まる「脳のゴールデンタイム」をフル活用する。昼一「脳にいいリセット術」でガラガラ仕事を脱する。夜一「正しい運動」がくたくた頭をシャキッとさせる。精神科医の「医学的メソッド」×アメリカ式の超効率的な「時短術」。

●あるかしら書店

ヨシタケ・シンスケ 著 ポプラ社



その町のはずれの一角に、「あるかしら書店」があります。このお店は「本にまつわる本」の専門店。店のおじさんに「〇〇についての本ってあるかしら？」ってきくと、たいてい「ありますよ!」と言って奥から出してきてくれます。今日もあるかしら書店には、いろんな理由で本を探しにお客さんがやってきます。この本屋さんでは、「あったらいいな」という本や夢いっぱいグッズが、次から次へと飛び出します。月明かりの下でしか読めない「月光本」、読書に付き合ってくれる「読書サポートロボ」、ふたつの本を合わせて初めて読むことができる「2人で読む本」などなど、読んだらきっと「本ってやっぱりいいよねえ」と言いたくなってしまうエピソードが満載。大人気の絵本作家ヨシタケシンスケさんの豊かな発想力がめいっぱい詰まった、ますます本が好きになってしまう一冊です。

●もし文豪たちがカップ焼きそばの作り方を書いたら

神田桂一・正菊池良 著 宝島社



もしも村上春樹がカップ焼きそばの容器にある「作り方」を書いたら—
ツイッターで発信され、ネット上で大拡散されたあのネタが、太宰治、三島由紀夫、夏目漱石といった文豪から、星野源、小沢健二らミュージシャンまで、100パターンの文体にパワーアップして書籍化されました。読めば爆笑必至の文体模倣100連発。さらにイラストは、手塚治虫をはじめとした有名漫画家の模倣を得意とするマンガ家・田中圭一氏の描き下ろしです!

●かがみの孤独

辻村 深月 著 ポプラ社

あなたを、助けたい。学校での居場所をなくし、閉じこもっていたところの目の前で、ある日突然部屋の鏡が光り始めた。輝く鏡をくぐり抜けた先にあったのは、城のような不思議な建物。そこにはちょうどころと似た境遇の7人が集められていた。なぜこの7人が、なぜこの場所に。すべてが明らかになるとき、驚きとともに大きな感動に包まれる。生きづらさを感じているすべての人に贈る物語。一気読み必至の著者最高傑作。

●人口知能の核心

羽生 善治 著

NHK 出版

2016年3月、人工知能の囲碁プログラム「アルファ碁」が世界ランクの棋士を破った。羽生善治は、その勝利の要因を、「人工知能が、人間と同じ“引き算”の思考を始めた」とする。もはや人間は人工知能に勝てないのか。しかし、そもそも勝たなくては行けないのか。天才棋士が人工知能と真正面から向き合い、その核心に迫る、“人工知能本”の決定版。

●この嘘がばれないうちに

川口 俊和 著

サンマーク出版



45万部を突破した『コーヒーが冷めないうちに』の7年後を描く、期待の新刊がついに発売！
とある街の、とある喫茶店のとある座席には不思議な都市伝説があった。その席に座ると、望んだとおりの時間に戻れるという。ただし、そこにはめんどくさい、非常にめんどくさいルールがあった。愛する人を想う気持ちが生み出した、不器用でやさしい4つの「嘘」。「過去にいられるのは、コーヒーが冷めるまでの間だけ」不思議な喫茶店フニクリフニクラにやってきた、4人の男たち。どうしても過去に戻りたい彼らの口には出せない本当の願いとは…？

●光と闇の旅人 I～III

あさの あつこ 著

ポプラ社



結祈は、ちょっと引っ込み思案の中学一年生。東海市屈指の旧家である魔布の家に、陽気な性格で校内の注目を集める双子の弟・香楽と、母、曾祖母らと暮らしている。ある夜、禍々しいオーロラを目にしたことをきっかけに、邪悪な「闇の蔵人」たちとの闘いに巻き込まれ…。「少年少女のきらめき」「SF的な奥行き」「時代小説的な広がり」といったあさの作品の魅力が詰まった新シリーズ。

●女の子が生きていくときに、覚えていてほしいこと

西原 理恵子 著

KADOKAWA



王子様を待たないで。お寿司も指輪も自分で買おう。

「エクソダス」というのは、聖書の「出エジプト記」に記された言葉で、多くの人たちが国境を越えて脱出すること。もし自分が抜け出せなかったとしても、女たちは、次の世代、また次の世代に、希望を託してきた。せめて子どもには、今の自分より、少しでも幸せな人生をあげたい。それって、代々、ちょっとずつ、ちょっとずつ、糸をつむぐように、女から女へ橋渡しされてきた希望の種なんだろうと思うんです。今の場所が最低だと思うなら、そこを抜け出す戦略を立てる。それだけは、どうかやめないで——もうすぐ、大きな帆をあげて、子どもたちの船が漕ぎ出していく。人生という航路に絶対安全はないからこそ、今、伝えておきたい。母から娘へ——厳しくもハートフルな生き方指南。



7/21(金)まで通常開館

夏休み期間 7/24(月)～8/24(木)開館しています。

8/14(月)～8/18(金) と土日祝日は閉館しています。